

白神通信

～秋田県側白神山地より



田苗代湿原のニッコウキスゲ

中・大型哺乳類調査 ～ツキノワグマの活動時間帯は？～

- ・ コロナ禍のセンター業務あれこれ
- ・ 植樹体験と自然観察会
- ・ 田苗代湿原～白神山地の湿原～
- ・ 待ってました！白神ニツ森線開通

令和3年7月28日 No.99
藤里森林生態系保全センター

コロナ禍のセンター業務あれこれ

令和3年度がスタートしこれまでの間、森林講座の中止、森林教室や各種イベントの延期など、予定していた時期に予定していた事が出来ないといった状況が続いています。こんな時期ですが、こんな時期だからこそ出来ることについて、あれこれと職員のアイディアにより取り組みを行っています。

今回は「岳岱多目的展示施設の模様替え作戦」について紹介したいと思います。

岳岱多目的展示施設といったネーミングから、多目的って一体何をもって多目的なんだろう？そういった単純な思いから、職員みんなのアイディアを出し合い、展示写真の更新、岳岱案内パネルの作成、岳岱の模型設置、これまでの雑記帳に加えスケッチブックの設置、見やすく手に取りやすいパンフレットの設置など、「出来ることは自分たちでやろう」作戦を実行しました。ソーラーパネルによる蓄電式のセンサーライトについても更新予定ですが、乾電池式によるセンサーライトを雑記帳記入箇所や岳岱案内パネルなど展示物が見やすくなるポイントを絞って設置してみました。(400ルーメンのセンサーライトですが、かなり明るく感じるのは気のせい???)

また、昼食や、ちょっとした休憩に使い勝手がよくなるように長椅子やテーブル、伐根椅子も設置してみました。

岳岱を訪れた際は、是非、多目的展示施設にお立ち寄りください。また、皆様のご意見やご要望について雑記帳に自由に書き込みしていただければ今後の施設充実の参考にしたいと考えています。(畠山)



板を渡して展示スペースを見やすく改良



▲▼センター実習棟にあったパノラマ模型を展示施設入口側へ移動



▲ 展示やパンフレットが見やすい位置にセンサーライトを設置

◀ 入口側にローテーブルを増設



植樹体験と自然観察会

秋田県立能代高校二ツ井キャンパスでは、世界自然遺産地域「白神山地」の魅力を伝えられる生徒を育成し自然を守る気持ちを深めることを目的とした「白神プロジェクト」の一環として、6月25日に1年生と3年生合わせて29名によるフィールドワークがNPO法人あきた白神の森倶楽部主催で行われました。当センター職員は植樹指導及び白神山地の観察ガイドとして応援をさせていただきました。

フィールドワークでは、まず午前中に森林が出来る過程や植栽の必要性を学び、スギ人工林伐採跡地にブナ苗木200本の植樹体験を行いました。生徒たちは暑い中、マスク姿で汗をかきながら一生懸命植樹を行い、予定時間に終わらせることができました。



午後からは岳岱自然観察教育林で自然観察会を行い、雨を地中に浸透させて貯めこむ“水源(すいげん)涵養(かんよう)”や空気浄化等、森林の重要性を学びました。林内は涼しく、湧き水が流れる空間があり、巨木がおりなす神秘的な風景の広がり、生徒たちは目を輝かせ散策していました。

生徒たちにとって、「白神プロジェクト」が白神山地の魅力を感じる機会であるとともに、直接自然に触れたことにより、森林や林業、ひいては環境問題について考えるひとつのきっかけとなればと思いました。(谷川)



中・大型哺乳類調査 ～ツキノワグマの活動時間帯は？～

藤里森林生態系保全センターでは毎年、センサーカメラでの中・大型哺乳類調査を実施しています。近年の調査結果については、藤里森林生態系保全センターのホームページをご覧ください。また、過去の白神通信でも触れていますので、興味のある方はそちらもご覧ください。(https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/)

前回の白神通信で、昨年度カメラをクマに壊されてしまったこととお話ししましたが、今年度も早速1台壊されてしまいました。専用の金属製のカバーにカメラを入れてセットしているのですが、カバー前面のレンズやセンサーのために開けてある穴に爪か牙が入ったらしく、所々えぐれてしまっています。衝撃でデータが消えてしまったのか、残念ながら壊されている最中の映像は確認出来ませんでした。



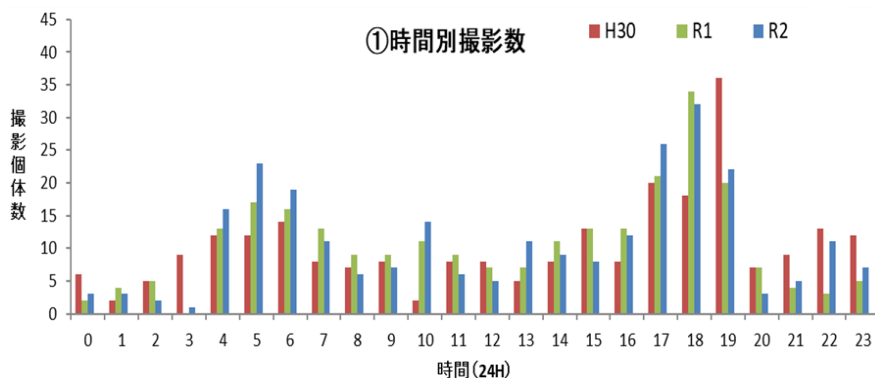
カメラ本体(左)とカバー(右)



クマに壊されたカメラ

さて、映像を確認していると割と頻繁にクマが写っているのですが、皆さんはクマが行動しているのは何時頃だと思いますか？私は、基本夜行性でたまに明るい時間帯に行動していると思っていましたが、意外と明るいうちから撮影されているので、まとめてみたのが①のグラフです。H30年～R2年の3年間、それぞれの時間別で撮影された頭数をまとめました。年毎に場所が多少異なりますが夜中よりも早朝や夕方の方が多く撮影されていて、活発に動いているのが分かります。

今年度撮影された5月、6月の映像を確認していると、山菜の時期ということもあり早朝や夕方にカメラの前を通る人の姿も多く、少し前にクマがいたところを人が通ることも頻繁にあります。採っているときはもちろん、行き帰りも注意が必要です。



また、これからの時期は行楽シーズンで山に登る方も増えていくと思います。鈴など音の出る物を身に付け、小グマなどがいてもむやみに近づかずに、これからのシーズンを安全に楽しんでいただければと思います。(入山)



夜間に撮影されたクマ



明るい時間帯に撮影されたクマ



子グマ。親グマが近くにいることが多いので要注意。

田苗代湿原～白神山地の湿原～



木道沿いを彩るニッコウキスゲ



ツマトリソウ



モウセンゴケ(食虫植物)

白神山地には2つの湿原があり、そのうちの1つが田苗代湿原です。面積は約 19 ha、湿地性のところは約 3.81 haです。藤里駒ヶ岳黒石登山口から歩いて 15 分のところに位置するため、体力に自信がない方でも気軽に散策できます。体力に少し自信がある方は、そのまま藤里駒ヶ岳の山頂を目指し眺望を楽しむのもおすすめです。

湿原の中は立ち入り禁止ですが、木道が整備されており、雪解けと共にミズバショウ、リュウキンカから始まりニッコウキスゲ、ハクサンシャクナゲ、タチギボウシなど8月頃まで高山植物を楽しむことができます。今年も6月下旬に植生のモニタリング調査に訪れると、ツマトリソウ、モウセンゴケ、ガクウラジロヨウラクといった、湿地や亜高山帯を好む植物を多く観察できました。ニッコウキスゲも昨年より多く開花した印象で、「今年は当たり年かな？」と喜ぶ登山者の声が聞こえてきました。これから真夏にかけては紫色のタチギボウシの花が、秋には湿原を囲むブナの森の「黄葉」が見ごろを迎えます。ぜひ足を運んでみてください。(山内)



ガクウラジロヨウラク



田苗代湿原を囲む山々の「黄葉」(10月頃)

白神山地世界遺産地域巡視員会議 (秋田県側)

今年度の第1回白神山地世界遺産地域巡視員会議は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ書面開催としました。

会議資料に関する質問・意見等については、巡視員の巡視活動について質問が出され、①秋田県側核心地域には指定ルートがないことから、巡視等で使用したルートは公開しない。②巡視活動は安全確保の観点からできるだけ複数人で行うようお願いしているが何名が適当かの判断は難しい。ただし、同伴による案内行為は厳に慎むとともに、疑念を抱かれないよう対応すると回答したところです。

巡視員の巡視活動予定については、今まで通り巡視活動を行う前月末までに「巡視活動予定届け出書」の提出をお願いします。その月の途中で予定していない巡視活動を行う場合でも届けを速やかにお願いします。(同行者については、〇〇ほか〇名ではなく全員の氏名を記載してください。)引き続き巡視活動に当たりましては、違法行為の防止と入山者のマナー向上を促進するため、安全に十分ご留意いただきながら、指導・啓発の取組を実施していただきますようお願いいたします。

なお、今年度の合同パトロールは9月4日を予定しています。よろしくお願いいたします。

待ってました！白神ニツ森線開通



▲ニツ森の巡視管理棟

世界遺産緩衝地域のニツ森の登山口へと続く、町道白神ニツ森線。白神通信前号には6月19日に通行止め解除予定と記載しましたが、実はその後も延期となり、7月10日、ついに解除されました。そこで当センターでは7月12日にニツ森巡視管理棟の解放作業を行いました。

土砂降りの中、入口と窓の囲いを外し、掃除をして、登山口にはのぼりとマットを設置しました。例年なら山頂まで巡視を行います。登山道が小川のようになっていたのでこの日は断念せざるを得ませんでした…。



ニツ森は青森と秋田の県境に位置し、晴れていれば登山道から世界遺産の核心地域、岩木山、向白神岳を望めます。登山口から山頂までは1時間程度なので、気軽に白神山地を味わうことができます。(鈴木)

◀晴れた日の登山道からの眺め。
世界遺産地域を挟んで青森県の岩木山まで見通せます。(昨年5月撮影)

特定外来生物

オオハンゴンソウ駆除作業中

昨年度の広報(白神通信 No. 94)にも記載した通り、今年度もオオハンゴンソウの駆除作業を続行しています。一見きれいな黄色のこの花は繁殖力がすさまじく、白神山地遺産地域に侵入すれば生態系に大きな影響を及ぼしかねない特定外来生物です。すでに市街地や河原では多くの花を咲かせており、山間部でも蕾をつけ始めています。今年は花が咲く前に、遺産地域に近い場所から優先的に作業を進めていこうと思います。



特定外来生物は運搬が禁止されているため、花と掘りとった根はビニール袋に入れてその場で枯死するのを待ちます。

(発行)林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター



〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

TEL:0185-79-1003 FAX:0185-79-1005

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

